

科目名	訪問介護員養成研修2級 介護概論 介護実技・実習
授業形態	講義・演習
開講時期	2年後期
時間数・単位	130時間 4単位

学習目標

- ① 歯科医療において高齢者歯科や訪問歯科診療が多いため、高齢者に対する理解を深めるとともに介護の知識、技術を得し高齢者への対応能力を養う
- ② 介護や福祉に対する知識、心構え、職業倫理等を学ぶ
- ③ 基本介護技術演習において技術の基本を習得し要介護者の体験を通じて介護される側の理解を深める更に訪問介護員のあり方や介護の在り方を学ぶ
- ④ 施設実習において講義と演習で学習した内容を現場実習で確認し、福祉について理解を深める

授業計画

回	授業科目	授業内容	到達目標
1	職務の理解	多様なサービスの理解 介護保険サービス(居宅、施設)、介護保険外サービス	これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。
2		介護職の仕事内容や働く現場の理解 居宅・施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携	
3・4	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護 ①人権と尊厳の保持 ②ICF ③QOL ④ノーマライゼーション ⑤虐待防止・身体拘束禁止 ⑥個人の権利を守る制度の概要	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。
5		自立に向けた介護 ①自立支援 ②介護予防	
6	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携 ①介護環境の特徴の理解 ②介護の専門性 ③介護に関わる職種	①介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に基づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。 ②介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。
7		介護職の職業倫理 職業倫理(専門職の倫理の意義、介護の倫理、介護職としての社会的責任、プライバシーの保護・尊重)	
8	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護における安全の確保とリスクマネジメント ①介護における安全の確保 ②事故防止、安全対策 ③感染対策	介護職の心身の健康管理(介護職の健康管理が介護の質に影響、ストレスマネジメント、腰痛の予防に関する知識、手洗い・うがいの励行、手洗いの基本、感染症対策)
		介護職の安全	
9	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度 ①介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ②仕組みの基礎的理解 ③制度を支える資源、組織・団体の機能と役割	介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。
10		医療との連携とリハビリテーション 医行為と介護、訪問看護、施設における看護と介護の役割・連携、リハビリテーションの理念	
11	介護におけるコミュニケーション技術	障害者自立支援制度およびその他制度 ①障害者福祉制度の理念 ②障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ③個人の権利を守る制度の概要	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なること、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められている事を認識し、初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解している。
12		介護におけるコミュニケーション ①介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ②コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ③利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ④利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際	
13	老化の理解	介護におけるチームのコミュニケーション ①記録における情報の共有化 ②報告 ③コミュニケーションを促す環境	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。
14		老化に伴うこころとからだの変化と日常 ①老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ②老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響	
15	認知症の理解	高齢者と健康 ①高齢者の疾病と生活上の留意点 ②高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。
16		認知症を取り巻く状況 認知症ケアの理念(パーソンセンタードケア、認知症ケアの視点)	
17	障害の理解	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理	障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。
		認知症に伴うこころとからだの変化と日常 ①認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ②認知症の利用者への対応	
		家族への支援 認知症の受容過程での支援、介護負担の軽減(レスパイトケア)	
17	障害の理解	障害の基礎的理解 ①障害の概念とICF ②障害者福祉の基本理念	障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。
		障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎知識 ①身体障害 ②知的障害 ③精神障害(高次脳機能障害・発達障害を含む) ④その他の心身の機能障害	
		家族の心理、かかり支援の理解 家族への支援(障害の理解・障害の受容支援、介護負担の軽減)	

18	介護の基本的な考え方	理論に基づく介護、法的根拠に基づく介護	
19	介護に関するところのしくみの基礎的理解	学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因、ところの持ち方が行動に与える影響、からだの状態がところに与える影響	
20・21	介護に関するところのしくみの基礎的理解	人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎知識、ホテイメカニクスの活用、中枢神経系と体性神経系に関する基礎知識、自律神経と内部器官に関する基礎知識、ところとからだを一体的に捉える、利用者の様子の普段との違いに気づく視点	
22・23	生活と家事	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援	
24・25	快適な居住環境整備と介護	快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法	
26・27	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	整容に関する基礎知識、整容の支援技術	
28・29・30	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援	
31	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援	
32・33・34	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法	
35・36	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法	
37	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法	
38	死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援	
39	介護過程の基礎的理解	介護過程の目的・意義・展開、介護過程とチームアプローチ	
(39)・40・41・42	総合生活支援技術演習	生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点の習得	
43	振り返り	研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶべきこと、根拠に基づく介護についての要点	
	就業への備えと研修終了後における継続的な研修	継続的に学ぶべきこと、研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例を紹介	①介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ②尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。

評価方法

筆記試験

参考図書等

介護職員初任者研修課程テキスト(日本医療企画)